

星野学園 120周年 小学校 10周年

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山 216-1
〒350-0826 TEL.049(227)5588
星野学園小学校 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

次の十年に向けて

（河辺教頭先生のインタビューより）

一八九七年（明治30年）、歴史豊かな川越に『星野塾』が誕生した。創立者である星野りち先生の建学の精神は時を超え、星野女子高等学校、星野高等学校と校名変更しても変わることなく根付いている。当然、星野学園中学校、星野学園小学校にも脈々と受け継がれている。学園は今年度一〇周年を迎え、小学校も一〇周年を迎える。その節目の年にどのような学校運営を考えているのか。「新年度の学校づくり」というテーマで河辺教頭先生にインタビューを行い、胸の内を語っていただいた。



回答する表情は、星野学園への信頼と愛情に満ちていた。

「星野学園小学校が一〇周年を迎え、河辺教頭先生にお伺いします。改めて、星野学園小中高十二年の一貫教育を見据えて、小学校ではどんな子どもを育てたいですか？」

河辺：やはり、私立の学校ですから一〇年間変わらない星野りち先生の「想い」や「建学の精神」に沿った「全人教育」で、骨太な創造性豊かな子どもたちを育てたいですね。

「それでは具体的に、お話しただけですか？」

河辺：イメージしやすい様に、知育（学問）・徳育（道徳心）・体育（運動）に分けてお話をします。

「分かりました。では、知育から。お願いします。」

河辺：学校は、何と言っても「学ぶ」場所だと思います。学校に来て、知らなかったことやできなかったことを一生懸命勉強し、できる様にする場所です。特に小学生は、勉強の仕方を学ぶと共に、基礎学力をしっかりと身につけることがとても大切です。自分の得意・不得意教科を知り、苦手な教科こそチャレンジできる。また、習得した知識を実生活に活かせる。そんな、小学生を今後も育てたいですね。

「続いて、徳育についてお伺いします。」

河辺：徳育とは、道徳心でしょうか。本校では、道徳心を育て、人格・情操を高める教育に力を入れてきました。校長先生による道徳では、「卑怯ないじめ」や「ずるい事」は絶対にしないと常にあります。また、失敗

してしまった時には素直に認め、潔く反省をする。まさに論語の「過ちて改めざる、是れを過ちと謂う」を実践し、自分と向き合う環境が星野にはあると確信します。

「最後に、体育についてお伺いします。」

河辺：体育は、正しく人間の基本となる健康や体力です。そして、自尊感情を育てるにはまず、遊びからと校長先生は話されま

す。遊びはやがて体育へと発展し、心と体を鍛えます。健全なる精神は健全なる体に住ると言う事です。星野学園には、その事が具現化できる多彩な充実した施設が整っています。お友だちと楽しみながら自然と体力が養われています。

「結びに、一言お願いします。」

河辺：星野学園は、創立一〇年。小学校は、次の十年に向け、子どもたちの気持ちを受け止め、責任を持つてお育てします。そ

新年度児童会

四月を迎え、新年度がはじまり、年度末に行われた児童会選挙で決定した、新児童会もスタートとなった。児童会の代表として星野学園小学校へのようないがあるのか、児童会の子どものインタビューを行った。

児童会長は、一人ひとりに応援し合える学校を目指したと話してくれました。そんな想いを



新役員として初めての舞台となった対面式。

「学校づくり」をテーマに話を聞いてみると、毎日学校に来た

いと考えるような、みんなが楽しいと感じるような学校にしたという熱い思いを聞くことができた。



笑顔でインタビューに答えてくれました。

多いことも星野の好きなところの一つであるという。このよう

安らぐ空間へ

（川村）

星野学園小学校の新たな取り組みとして、「BGM Sound Design OFFICE」を導入しました。これにより、登校時間や休み時間などに、イメージリフレッシュ効果や、気持ちの切り替え、集中力向上が期待されます。落ち着いた環境でしっかりと授業に臨み、充実した毎日を目指します。（本松）

卒業式

三月十四日(月)、しとしとと降り続く雨が、卒業の寂しさを表すように星野学園



思いが溢れる退場の時。

小学校第四期生の卒業式が執り行われた。卒業式とは悲しいものであるのか、嬉しいものなのか。それ立っていった。彼らも有意義であったことは、彼らが流した涙が物語っている。たくさんの思い出と、それを共に作ってきた仲間との別れを惜しむように、卒業式が行われた。彼らと過ごした教員の目からも早々と涙がたつたわつや。今生の別れと六年前の四月、何もかも分かつた瞬間をた一年生が、六年間でも多くの経験を通り、卒業生は、入場から凛々しく、卒業証書授与は堂々と自信に溢れた様子だった。君が代、校歌、仰げば尊しと、綺麗な歌行動できる自立した学年だった。教員もその特性が分かっていて、多くのことを

未来への旅立ち

新生活の始まり



自然と表情も引き締まります。

入学式

うらかな春の日差しの中、真新しい制服に身を包み、保護者の方に手を引かれな

から新入生たちが星野学園の門をくぐっていき。たくさんの期待と少しの緊張に、歩みを進める新入生たちを温かな

拍手で迎える中学生たち。この温かく微笑ましい光景を見るのも早いもので十回目。中学生たちは新入生を見つめながら、自分が小学校一年生として入学した日を思い返しているようだった。こうして、四月九日(土)、新入生六十七名を迎え、星野学園小学校は新しい一年をスタートさせた。

星野学園小学校はと中学生のつながり、

いものもあふ。小学生かかかわる全ての大人た

子どもたちの学力向上を目指して学習指導に工夫を加え、子どもたちの豊かな感性を育むために行事や施設の充実を行ってきた。「子どもたちのために」、「よりよい教育を目指して」を合言葉に学校で一丸となつて創意工夫を重ねてきた。けれども、変わらな

入学式後、「これから新入生たちを立派に育て、自信をもって中学校に旅立てるようにしたい」と言葉ももらした教員がいる。その思いは、教職員一同はもちろん、保護者の方々



学級開きです。新しい生活が始まります。



3曲とも歌声に思いをのせた。

学習発表会

昨年度の学習発表会はインフルエンザによる学級閉鎖の影響で、低学年・高学年を分けての開催となった。迫力ある体育の実技を見せた三年生、オリジナルティあふれる脚本とユーモアたっぷりの演技で会場を沸かせた五年生等、各学年気合の入った発表を見せてくれた。しかし、星野学園小学校の学習発表会の隠れた見どころは、実は発表中の合間にある。例えば一年生は発表中、舞台セットの移動を自分たちだけで手早く行った。入



1年生による舞台発表です。堂々とした態度で発表できました。

星野学園小学校十周年を記念して、各教室を象徴するキャラクターに新しい仲間が登場しました。その名は、猫の「アメシヨちゃん」と、犬の「ブルドッグくん」。新たなキャラクターと、楽しい思い出を作っていきます。(本松)



星野学園小学校 Web 更新中!
<http://www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/>

本校の Web ページでは、星野っ子の日常や、楽しい行事の様子を up しております。本紙と併せてご覧ください。